

(前年度予算額 671百万円)
平成22年度予算額 1,515百万円

メディア芸術は広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに、海外から高く評価され、我が国への理解や関心を高めている。
また、メディア芸術は、我が国の文化振興はもとより、コンテンツ産業、観光、国際文化交流にも資するもの。

メディア芸術の一層の振興のため、「ソフト支援」と「ヒューマン支援」を充実

ソフト支援 (発信、展示、情報収集、創作活動の促進等) 1,207百万円(671百万円)

文化庁メディア芸術祭【373百万円】(335百万円)

- ・メディア芸術の総合的祭典として、優れた作品の顕彰、入賞作品の展示等を実施。
- ・地方展の拡充(1地域→2地域)、国内巡回展(新規:5地域)の実施

メディア芸術プラザ【45百万円】(45百万円)

- ・メディア芸術祭関連情報や入賞作品、最新情報をウェブ上で提供。

メディア芸術海外展【128百万円】(129百万円)

- ・文化庁メディア芸術祭海外展の実施。(1地域)
- ・優秀作品を海外メディア関連芸術祭に出品。

アニメーション映画の製作支援

【162百万円】(162百万円)

- ・アニメーション映画製作費の一部を補助。

世界メディア芸術コンベンション

【34百万円】(新規)

- ・世界のメディア芸術祭関係者等によるコンベンションを開催。

メディア芸術部門会議【20百万円】(新規)

- ・各分野ごとのクリエイターが連携・協力を推進する会議を開催。

メディア芸術デジタルアーカイブ

【228百万円】(新規)

- ・メディア芸術祭受賞作品や、散逸・劣化の危険性が高い作品などのデジタルアーカイブ化を実施。

メディア芸術情報拠点・コンソーシアム

構築事業【217百万円】(新規)

- ・メディア芸術に関する情報収集・発信や関連の文化施設、大学等の連携・協力の拠点機能を果たす情報拠点・コンソーシアムを構築。

ヒューマン支援 (人材育成) 308百万円(新規)

メディア芸術クリエイター育成支援事業【67百万円】(新規)

- ・若手クリエイター等が行う創作活動、国内各地の施設が行うワークショップ・公開講座・調査研究等に関する事業を支援。

若手アニメーター等人材育成事業【215百万円】(新規)

- ・制作スタッフに若手人材を起用し、制作段階でオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)を組み込んだ実際のアニメーション制作現場における人材育成を実施。

海外メディア芸術クリエイター招へい事業【26百万円】(新規)

- ・海外の優秀な若手クリエイターを招へいし、研修・研究の機会を提供。